

りんご「シナリップ」夏季栽培管理講習会を開催しました

7月13日に上田市上田のシナリップ栽培実証園にて標記講習会を開催しました。講習会には、「シナリップ」の生産者やJA等関係機関約30名が参加しました。

「シナリップ」は8月収穫の早生品種で他産地との競合が少ないため、栽培面積が増加しています。しかし、近年は夏季の高温による日焼け果や着色不良果の発生が課題となっているため、高温障害が比較的発生しにくい7月中旬からの着色管理の実施や多目的ネットの利用、定期的なかん水の実施が重要になる旨、長野県農政部農業技術課の鈴木副主任専門技術員と実証園主の方から説明がありました。

当日は、活発な意見交換が行われた他、参加者から「今後も高品質なシナリップを栽培していきたい」との強い意気込みが聞かれました。



説明を行う鈴木副主任専門技術員



講習会の様子